

五 一八 受信 二二三三四 譯了 二二三三〇 電 〇九二四一 參作 本誌



天一號作戰部隊



小祿航空基地

機密第一八一八一六番電

發 G F 參謀

(一) 午後來襲 延機數五一 (T B F I 一、二二三 S B 二〇一、八 F 四 U I 一、十二 F 四 F I 三、八) ニシテ 攻撃活潑ナリ 本日ノ F 二 A I 二・T B F I 一ハ 在空三時間 戦闘機ハ 四乃至五時間ニ及ベ  
(二) リーフ上ニ 轟爆セシ 驅逐艦ハ 一七〇〇頃迄 黒煙ヲ 懸ゲオリシガ 遂ニ 敵ハ 艦砲ヲ 以テ 砲撃シ 殘骸一部ヲ 殘ノミ。

通一〇三六三 呂一Bケ七 (四九一五 K) 一 K F G B 小森 (小澤)

5-19

966T

五一九 開始00四二五九 終了0四四四 届0九二八六 航本・参本0

作戰緊急

停

天一號作戰部隊・沖根

大島防

機密第一八六八五七番電

一三一五ヨリ一六二〇迄ニF六F二十六機TDF一〇機SB二〇九機  
來襲主トシテ陸上施設砲台村落ヲ焼燬、戦果被害後報、本日來襲機  
數總計一〇七機ニシテ一ヶ月以來最高ヲ示シ從來機群ヲ主攻撃目標  
セルガ本島ハ陸上施設ニ對シ攻撃ヲ集中セルヲ時異トス。

通一〇四〇四 於一六(九二〇五K)一〇通 清水(吉田)

5-18, 19

466T



東通・戦闘概報・聯合艦隊口・高通・佐通

石 軍 警 備 隊

官古島警備隊

機密第一八一九一七番電

發 官古島警備隊司令

宛 高警長官

通報 G F 參謀長 佐鎮參謀長 大本營海軍部

戰鬥概報

自〇二〇〇至〇五三〇敵小型機二機編隊ヲ以テ三次ニ亘リ上空哨戒  
飛行場銃爆撃在空時間概ネ三〇分乃至一時間一二一三B二四、一機  
三四〇度ヨリ來襲一二五五・二八〇度方向ニ去ル戰果被警ナシ。

通一〇四二〇 天二Bケ八(四七〇五K) 高通 半澤(小澤あ)

五一八 受信〇一三四六 譯了〇一四〇 電〇九三一三 作動〇  
至 急 譯始〇一〇四五



④ 四海上護衛隊  
⑤ 海上護衛總指揮官。五航空艦隊。一護衛艦隊。四監視艦隊。鹿兒島在勤武官。海軍總隊。

機密第一八二一五四番電

宛 第一船舶司令部 第二特攻部隊指揮官

佐 鎮信電令作第一二七號

一、G B 電令第二六號ニ依リ特設監視艇一〇ヲ第二特攻部隊ニ編入

ス

二、第二特攻部隊指揮官ハ右船艇ヲ以テ陸軍種子島輸送ニ協力スベシ。

通一〇四三八 天二Bケ一(四〇四五) 佐通 半澤(小澤あ)



緊急

天一號作戦部隊

小藤航空基地

機密第一八二二四四番電

敵GF参謀

(一) 敵日没時ヨリ燈火管制一九四二・一九五〇對空砲火、二二二〇北  
 飛行場方面ニ從來會テ見ザル大火柱(瞬時)發火ヲ認ム  
 (二) リーウニ於テ轟爆セルDト同時ニ附近ニ在リテ之ヲ曳行セント  
 シ曳船一隻及Dノ重油ヲ移載セントセシ油船ラシキモノ(二〇〇  
 噸級)ヲ併セ沈セリ  
 油船ハ猛烈ニ炎上セリ。

道一〇四五八 呂一〇(一) KFGB放 高橋(吉) 田( )

五 一九  
作戰緊急

受信開始 〇〇四四二〇一四

譯了 〇四二九 電 〇九二八七

航作本 〇

● 串良航空基地



- 九三一空 (築城航空基地)
- 九三一空 (佐伯航空基地)

機密第一八二三一 二番電

第九三一部隊電令作第三三號

明十九日一二〇〇迄ニ陣風隊 (四組及ア夕木上等飛行兵曹) ハ天山  
三機ヲ以テ串良ニ進出スベシ。

通一〇四八六 於十六 (三九三七、五K) 一KFGB放山本 (雨谷)

五一九 受信〇〇四三一八 譯了〇七〇一 電〇九三四八 作概〇  
至 急



天一號作戰部隊



共

符

機密第一九〇〇二三番電

沖根聯合陸戰隊戰鬥報第二號  
十六日莫ノ後ノ被害追加 戦死士官三名 兵七名  
十七日第三二軍命令ニ依リ在與敵附近ノ一ヶ大隊ヲ牧志町附近ニ推  
進獨立混成第四四旅團長ノ指揮下ニ入ラシムラレ移動開始  
戦果ナシ 被害重軽傷兵四名。

通一〇四八二 呂一Bケ七 (四九一五K) 佐二放  
蘭嶼(阿波)

五 一九 受信一〇〇二〇五 譯了二二二五 電〇九四三八 航機本〇

緊急



● 一 航空艦隊中

● 古仁屋航空基地

機密第一九〇〇五〇番電二分ノ一

水爆隊戦闘概報 (十八日)

一 第一次瑞雲一機一九三五發進二〇三二與論島東南五哩ノ線ニ驅逐艦  
高速力南下中ヲ發見之ヲ攻撃二一三〇歸着第二次瑞雲二機二二三〇  
發進一發機徳ノ島附近ニテ發動機不調ノ爲引返ヌ二三〇〇歸着二發  
機二三三〇名護灣ニテ大型輸送船十數隻ヲ發見攻撃〇〇一〇歸着。

● 電信課註 本電二分ノ二未着

通一〇五六七 呂一Bケ一一 (七四六〇KG) 曇ヶ谷 久保田 (小林)



五 一九 受信開始一九三三 譯了二二一五 電〇九四五二 航作概本〇

緊急



一 航。空。艦。隊。P

● 古仁屋航空基地

機密第一九〇〇五〇番電 二分ノ二

三 戰果第一次驅逐艦ニ有効彈一發(二十五番一) 効果概不確實第二次  
二 舊機同地點ニテ多量ノ油浮流ヲ認ム第二次大型輸送船ニ二十五番  
一 筋中六番ニ至近彈

三 被害ナシ

四 保有機數四機實動機數三機

(電信謀註 本電二分ノ一既配布)

通一〇五六八 呂一Bケ一一(七四六九KC) 在鎮 西岡(細川)

2004 5~19

作

作戰緊急

受給〇〇九〇三〇

了二二二〇

〇〇九四三四

本

鹿屋航空基地

宮崎航空基地

天航空部隊戦闘高報着信送所

機密第一九〇四二五番電

二分ノ二二

七六二部隊戦闘高報(第十一號)(五月十九日)沖縄周邊敵艦船攻撃

一、銀河四機(全機雷装)迷彩シアル重爆四機(照明一機雷装三機)一八

四五一、一九三〇宮崎基地發進銀河一機二一五〇口區敵泊地煙幕展開

突破進入熾烈ナル防禦砲火ヲ受ケツツ艦種不詳(特設航空母艦又ハ大

型輸送船)ヲ雷撃命中確認一機二二二五巡洋艦又ハ驅逐艦ヲ雷撃效果

不明一機鹿屋ニ墜投戦果後報一機二一〇〇以後發進重爆一機(雷装)

故障引返セル爲觸發機一機モ引返ス一機二二三〇頃地點ナホ一サニ於

通一〇五二七

呂一Bケ七(七八七五IC)一KFGB放

鈴木・原(松井)

テ大型艦種不詳ヲ雷撃○一二〇新田原ニ不時着一機○二一九茂浦ニ不時着以上二機ノ戦果後報ス  
 三被撃河一機未歸還一機被弾小破重爆一不時着大破。  
 (東通註 本電誤字多ク同文ニテ處置ノ爲遅延)

五 一九 設始 一三二〇

緊急

出水航空基地



天航空部隊戦闘概報着信處所  
 松島空

機密第一九〇九二〇番電

出水部隊戦闘概報(十八日)

一 一式陸攻二機(二式艦偵ノ代リ三號二六番六擲行)沖繩北飛行場(第二目標伊江島飛行場)爆撃ノ爲○○○五發達○二三五及○四〇五夫々爆撃終了歸途ニ就ク一機ハ○五〇〇大分ニ不時着他ノ一機○六〇〇津久見島連絡アリシモ佐多岬南方九五哩ニテ燃料残額四〇〇立ヲ報ゼル狀況ニ鑑ミ不時着ノ算大ナリ  
 二 戦果伊江島飛行場炎上一 北飛行場炎上二。  
 通一〇六一五 呂一B六十一(七八七五記)一KFB 中野(南谷)

五 一九 至 急

文信一七五三  
開始一七二五

詳了一八四〇

電〇九六〇三

本機



第五基地航空部隊戦闘概報通信艦所

機密第一九一〇四五番電 二分ノ二

第五基地航空部隊△

五 F G B 戦闘概報 第三六編 (自五月十一日至十七日橋作戦)  
一 出動延機数特攻一七 長雷急撃四六機 (引返機二二機ヲ含マズ)  
二 戦果

(1) 特別攻撃隊 B 又ハ C ヲ發見 慶長間附近ニ突入セリト報メラルモ  
ノ一六機

(2) 浮沈 C 又ハ D 一艦種不詳ニ (内一通信謀報ニヨリ艦母一ノ算  
アリ) 大型一舟艇五隻撃破大中小輸送船計五隻及飛行艇一  
通一〇七七一五四 呂一四ケ一 (七五六五) 長ヶ谷 長ヶ谷川 (木下)

(1) 北飛行場炎上一九箇所燃發七  
三被害自爆未歸還二七(含ム特別攻撃隊一七)不時着大城四地上炎上  
一

8005

五 一九 受信一二四五 譯了二三三六 電〇九四四六 作 稿  
開始一三一五

緊急



● 天一 號 作 戰 部 隊

● 小 祿 航 空 基 地

機密第一九一〇四八番電



發 聯合艦隊參謀

〇九三二及一〇〇〇頃那爾沖艦船對空砲火(短時間熾烈)ト共ニ南下中  
ナリシニューメキシコ型戰艦ハ二度共急遽反轉口區ニ向ハント驅逐艦  
L O I 等ヲ全速右往左往シ痛ク脅シ見受ク。  
様

2006

5~19

通〇六三九 於一六(七八七五KC)一KFGB放 森澤(半) 傳

五 一九 受信一七五八 靜了 一八三五 電〇九五六三 航本 本〇

作戰緊急



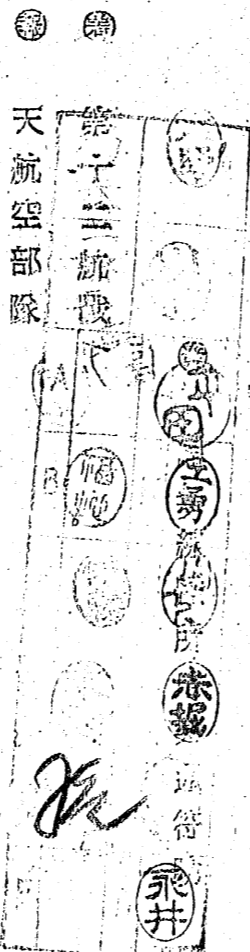
天航空部隊作戰命令着信艦所  
機密第一九一五五五番電

信電令作第四八號

- 一、菊水第七艦作戰工日ヲ二三日ト豫定ス
- 二、作戰要領陸軍航空部隊ト協同工一日夜間攻撃ヲ強化工日一二三日
- 三、白菊隊水上偵察機隊櫻花隊制空隊ト全力及錫河隊ノ大部ヲ以テ沖繩
- 周邊艦艇ノ查問總攻撃
- 三、作戰實施細目別令。

第一〇七五九 呂一〇ケ七(七八七五) 一五〇〇 放 品田(土谷)

作戰要旨



機密第一九一五五七番電ノ二分ノ一二

FRB信電令作第四九號

一二AB指揮官ハ左ニ依リ麾下白菊隊水上偵察機隊ヲ以テ沖繩周邊艦

船政艦ヲ航行スル

一作戰期間 自五月二六日起至六月二旬

二指揮官 一二AB指揮官所定

三展開基地白菊隊旭屋嶺良ノ各基地五〇機計一〇〇機展開可能ノ水偵

通一〇七八八 呂一Bケ七(七八七五IC)一FRB成 品田ノ雨谷

機密第一八四五

電〇九六〇七

九夜一二A B 指揮官所定

四 作戰要領

- (1) 二十一日ヨリ白菊約一五水偵約五機ヲ標準トシ連日月明夜間攻撃
- (2) 右以外白菊隊零機隊ノ全力ヲ以テ菊水七號作戰ニ參加。

(二)

五 一九

設始二一〇〇八

時了二一四五

電〇〇九六二二二

作本

緊 急

傍

先遣部隊

共

符

機密第一九一六五五番電

二分ノ二

五 B 綜合情報第八六號

一 敵ハ西方ヨリ進出ヲ企圖シ那覇首里附近ニ於テ激戰中天候不良ノ爲  
來襲機比較的僅少十九日小隊延八三機附近艦艇ノ狀況不明

二 伊江飛行場使用開始十六日小型四七中型二

三 敵機動部隊十八日一七一六地點今ツセ一三ニ方位測定セリ附近ニ策  
動中ナリト認ム十八日延一〇七機大島ヲ攻撃セルハ艦載機少ル算ア  
リ

四 通信諜報ニ依レバ敵南西諸島方面ニ對スル新策動ノ兆候濃化シアリ  
即チ十四日頃有力ナル増援部隊マリヤナ及ウルシ島ヲ出撃セルモノ

一〇〇八三三二

呂一Eケ十一八五二九五XC六F放

川本(符) (一)



ノ如シ 又十五日以降レイテ島方面ノ艦隊ノ動き活潑化シアリ  
其本日飛行哨戒種子島南大東島沖繩島間敵ヲ見ズ。

五一九 設信二一四五 了二二三  
CC九六六六六 作本  
作戰緊急 宮崎 航空基地



鹿屋 航空基地  
天航空部隊作戰命令着信處所

秘密第一九一九〇番 二分ノ一、二

七六二部隊戰闘報追加訂正(五月十九日)

二十日第七戰隊二番機ノ報告セル〇三三〇空母一大火災ハ同機ノ戰  
果ニシテ特空母ナルコト確認セリ

二十八日二一五〇銀河一機ノ攻撃セル機種不詳(特空母又ハ大艦輸  
送船)ハ命中大火材ノ中ニ全艦型ヲ確認特空母ナル事略確實ナリ

三十八日九八四ノ戰果並ニ被害重機一機地點「ナホ一」ニ於テ大  
型艦船ヲ震盪大火材確 認沈没確實一機敵ヲ見ズ被害重機一機  
不詳着炎上搭乗員七名戰死。

通一〇八五二・一〇八四九 片一〇八七一(七八七五K)一KG 島木(福田)

鹿屋航空基地

局長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長	八課長	九課長	十課長	十一課長
天航空部	飛操	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密

至 急 鹿屋航空基地

鹿屋航空基地 電〇九七六八 本

T F B 戦闘機報 (十九日)

二三五番電 三分ノ一三

十八日夜間銀河六機重爆二機天山三機泊地攻撃陸攻二飛行場攻撃  
 實施銀河一機二一五〇飛中飛行場沖ニテ艦種不詳(特空母又ハ  
 大型輸送船)雷撃命中確認一機二一一五巡洋艦又ハ驅逐艦ヲ雷撃  
 効果不明

二十八日陸攻二機飛行艇二機ヲ以テ足摺埼一五〇度一三一〇度進出  
 距離二八〇海里内ノ夜間日施哨戒ヲ實施セルモ敵ヲ見ヌ  
 三十八日二一一五頃敵中型機二機志布志灣方面ヨリ侵入銃撃セル  
 モ被害ナシ

四十九日午後影雲二機一〇〇式司令部偵察機一機ヲ以テ列島線南東  
 海面ノ敵ヲ實施セルモ敵ヲ見ヌ。(電信課註本電三分ノ一未着)  
 通一〇九五四一〇九五五 呂一〇七七 (三九三七五) 一 T F B 放 中野 (半電)

五二〇 受信始 〇〇四一五 了 〇五三〇 〇九七六 本

至 急 鹿 屋 航 空 基 地



天航空部隊 機密第一九二二三五番電 三分ノ二

重爆一機二二三〇中城灣沖ニテ大型艦種不詳ヲ雷撃セルモ他落地ニ  
不時着戰果不明天山一機〇〇一五中城灣ニテ荷役中ノ輸送船ニ對シ  
雷撃天候不良ノ爲效果確認シ得ズ  
三飛行場伊江島大火災一北飛行場炎上ニ確認

〔電信課註 本電三分ノ一、三聯配布〕  
通一〇九六二 呂一Bケ七(三九三六五KG) K F G E 高橋(福田)

五三〇 受備〇〇九八三四六 丁一〇五三 〇九八七五 作部〇

要 象

● 共

符



● 天一號作戦部隊

機密第一九三三四五番電

沖繩根據地隊聯合陸戰隊戦闘概報第四號

十四日以降ノ人員別報

十四日戦死 士官一 下士官兵六 重傷士官一 下士官兵七

十五日戦死 下士官兵一 重傷者下士官兵三

十六日戦死士官一 下士官兵九 重傷下士官兵五

人員被害ハ各部ノ報告遅延スル爲特殊ノ場合ヲ除キ自今毎日ノ戦闘概報ヨリ除キ取廻別途報告。

通一一〇四八 呂二〇ケ七 (七八七五) (一KFFQ) 放 日本(阿波)